

日本バウハウス協会  
講演 (オンライン)  
2022年9月28日(水)  
18:30-20:00

# 新藤 真知

## バウハウス・ダンス



1919年に開校した総合造形学校バウハウスには当初から「舞台工房」が設置されていた。学長グロピウスが造形家にとって身体による空間の理解がどれほど大切であるかを知っていたためであり、学生たちにはどのような専門分野を選ぶかにかかわらず舞台工房への参加を全員に促した。現実には成功したとは言い難い初期の舞台工房ではあったが、学校がワイマールからデッサウに移転する時期、バウハウスの校風は表現主義から構成主義へと転換を図り、オスカー・シュレンマーが『トリアデック・バレエ』で新しい身体言語を提示したことで舞台パフォーマンスの意味は刷新される。2010年以来デッサウ-バウハウス財団のブルーム研究員が取り組んできた舞台工房ワークショップの今日的活用、デザイン教育の視点を検証する。

講師 新藤 真知 (しんどう まこと) 氏

1950年東京生まれ、1968~69年劇団四季演劇研究所で舞台芸術を学ぶ。画廊勤務を経て1973年以来フリーランス美術展プロデューサー/キュレーターとして様々な展覧会を企画制作して今日に至る。日本バウハウス協会理事。

1977年からパウル・クレー家族との親交を結び1997年日本パウル・クレー協会を設立。

著書に『芸術の非精神的なことについて』(勁草書房、1995年)『クレーの旅』(2007年、平凡社)など。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)

<http://nipponbauhaus.jp>

講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは2次元コードまたは下記URL

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_oUNker4OQxagaEjRGyGjtQ](https://zoom.us/webinar/register/WN_oUNker4OQxagaEjRGyGjtQ)

